

変な家の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	変な家の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『変な家』を読んだことのある10代～50代の男女15名
調査期間	2025年4月16日～2025年4月22日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hennaie/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 変な家を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	2人
30代男性	2人
30代女性	1人
40代男性	6人
40代女性	3人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2: 変な家の感想を教えてください。

変な家:1巻	想定外の展開が続いて面白かったです。まさか家の間取り図一枚からあそこまで進展してしまうとは驚きでした。そして話の急展開もすごかったです。最初の間取り図を見て、バラバラ殺人について話をするまでは面白くよめました。でもその内容を記事してから展開が強烈でした。左手首から先がないというのが決定的になったんでしょうけど、そこから実際の殺人事件へと進展するのは。当然加害者の方もこの記事はチェックしているでしょうし、この先どうなるの？とハラハラして楽しめました。
変な家:1巻	フリーライターと建築設計士が会話しながら間取りのおかしいところを見つけていくという形式なので、図や文章だけで説明されるよりもすんなり頭に入ってきて楽しめました。また、原作者の雨穴さんが性別を含むプロフィールを一切公開していないという点にきちんと配慮された、中性的で年齢不詳な主人公のキャラクターデザインにとっても好感を持ちました。
変な家:1巻	元々オモコロが好きで『変な家』はオモコロ記事、YouTubeで知って面白いなと思っていました。記事や動画が淡々と進んでいく静かなホラーミステリーだとしたら、漫画版は結構ホラー要素強めでドキッとされられる描写が多かったです。トリックが見取り図だけでなく家の描写として出てくるので分かりやすく良かったです。そしてなんと言っても漫画化するにあたって雨穴さんがお面から人間になっています！中性的なキャラデザは意外でしたが生活感なども描かれており、また違うかわいらしさがあります。
変な家:2巻	前巻に引き続き、新たな家の間取り図からいろんな恐ろしい想像が浮かんでしまうのが、ホラー好きにはたまらない展開となっています。設計士の栗原の洞察力が凄まじくて、こちらが気がつかないような怪しい部分もズバズバ指摘していくので、探偵ものを見ているような感覚にもなれます。しかしまだいろんな謎が残されていてそうなので、早く続きを読みたくまりました。
変な家:2巻	主人公と設計士栗原が埼玉の家の謎について色々と考察していく展開がとにかく面白いですね。謎がまた謎を呼びより興味が深まっていく内容が最高です。殺人を犯して遺体をどこに隠していたのかなど色々な考察がなされていくのですが、すぐく辻褄が合っていくので読んでいて、なんとなくパズルがはまっていく感覚になりとても気持ち良かったですね。
変な家:2巻	栗原さんが家の間取りについて徹夜で考え抜いた挙句、地下室の存在があると言い出した時は凄いなと思いました。寝不足でお腹がすいているにも関わらず、完璧な蕎麦を作り主人公に振る舞うところがさすがだなと思いました。食べながら平気な顔で死体の話をする二人に驚いたけど、食べ終わった途端に爆睡してしまう栗原さんが可愛かったです。
変な家:3巻	この作品は本当に先が気になるように読み手を誘導してくるのすごいですね。今回も片淵さんという女性からの話で色々な背景が明るみになっていったので目が離せませんでした。主人公たちが推察すればするほど、その通りに思えてくる展開に背筋がゾワッとしましたね。やっぱり他人の家の生活事情というものは知れば知るほど面白いですね。
変な家:3巻	今までバラバラだった謎が、今回で少しずつ繋がりはじめたようで、ワクワクと同時に恐怖も感じられました。これまでの巻よりも、ホラー演出に力も入っていたのでホラー好きも大満足できると思います。主人公達が真相へ向かっていくにつれて、何かとてつもない陰が迫っているような雰囲気もあるので、怖いですが最後まで見届けたくまりました。
変な家:3巻	変な間取りを見ていくうちに色々な考察ができていくのが本当に興味深いです。個人的に片淵さんの話で彼女の姉が匿っていた謎の子供の正体がどのような人物だったのかという点がめちゃくちゃ気になりましたね。謎が謎を呼ぶという感じで一つ問題が解決したかと思えば違った場所から新たな謎が生まれるという感じで全く飽きることがありません。
変な家:4巻	この作品は本当にいいスピードで物語が進行していくのでめちゃくちゃ没入できますね。作中、片淵さんの父方の実家が左右対称な家というところに言い知れない不気味さを感じましたね。よくよく考えたら左右対称の家というのはあまり見かけないなということに気がついて、めちゃくちゃ恐怖心が高まりましたね。一体どういう経緯で片淵さんの姉が失踪してしまったのか本当に興味深いです。

変な家:4巻	間取りの謎がここまで顕著に表現されていくとは本当に目が離せません。家の中に隠し通路があり、そこに来客を誘き寄せて殺害という考察には背筋がゾクッとしましたね。こんなこと本当にしていたのかなどすごく気になってきます。でも主人公の考察の熱がめちゃくちゃ強くて納得させられてしまうのがすごいですね。この作品は物事の辻褃合わせがとにかく上手いので本当に面白いです。
変な家:4巻	これまではやや突飛ではあるものの現実的な事件の話でしたが、「左手供養」というキーワードの登場で一気にオカルトホラーの様相を呈してきてドキドキしました。そしてそのぶん、片淵家の過去が明かされた時は、人間の業の深さのようなものを感じて寒気がしました。この悍ましい因縁のせいで綾乃と慶太の身になにが起こったのか、はやく知りたいです。
変な家:5巻	変な家の小説版がすごく話題になり、どんな内容なのか気になっていました。漫画になっているということを知り読んでみたのですが、めちゃくちゃ面白かったです。特にこの5巻は、物語の中心となる左手供養の話となっていて今までの謎が一気に解き明かされていきます。左手供養という言葉に、恐ろしい意味が含まれていて読んでいてゾッとしました。それぞれの家に色んな掟やしきたりがあり、他の人には全くわからない世界があってもっと続きが知りたくなりました。
変な家:5巻	ある一つの間取りから、どんどん物語が派生して色んな家庭の背景が垣間見える展開にすごくドキドキできましたね。片淵姉妹の話から、どんどん過去に遡り恐ろしい儀式が存在していたことなどが判明していくので本当に怖いです。でも知りたいという欲求が高まっていくのも事実です。主人公たちが考察した事が本当かどうかは実際のところ完全にはわかりませんがその可能性が大きいと考えるとより目に見えない恐怖というものを強く感じ取れます。
変な家:5巻	「変な家」はもともと1巻から読んでいて、今回の5巻もすごく楽しみにしていました。 やっぱりこのシリーズの魅力は、間取りとか建物から謎が浮かび上がってくるところで、5巻でもその違和感がどんどん積み重なって、読み進める手が止まりませんでした。 登場人物の過去やつながりも少しずつ見えてきて、ストーリーがさらに面白くなってきたのを感じ、日常の中に潜む怖さがリアルで、読んだ後もずっと印象に残ってます。 個人的には家の構造から不気味さを感じさせる演出が本当に好きで、何度も読み返したくなる一冊です。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス